

オンライン開催
要申込

広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

講演1 (座長) 広島大学病院 がん治療センター 准教授 岡本 渉 先生

「SCRUM-Japanが主導するがんゲノム医療開発」

国立がん研究センター東病院

トランスレーショナルリサーチ支援室／消化管内科

中村能章先生

中村能章先生は、平成21年卒の若手医師ながら、本邦のがんゲノム医療開発を先導されており、その成果は、一昨年のNature Medicineに引き続き、昨年もNature Medicine、Nature Reviews Clinical Oncologyに掲載されています。また、米国臨床腫瘍学会(ASCO)のEducational Bookも執筆されており、昨年の御講演以降、世界を代表するcancer genetic profiling based medicineの研究者となっております。臨床現場から生まれる疑問や課題に直結した研究を多数実施されており、その成果は論文報告のみならず、実際の臨床現場に還元されるに至っており、前回以上に壮大なお話が伺えることと思います。

講演2 (座長) 広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

「共感と信頼で育まれる、患者力と主治医力 ～双方向の対話でエビデンスとナラティブは意味を成す～」

福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー准教授

白河厚生総合病院 総合診療科部長

東光久先生

東光久先生は、総合診療を軸にしなが、リウマチ・膠原病診療とがん診療におけるプロフェッショナルとしても御活躍されておられます。「患者へのBest Practice」を合い言葉に主治医力を持った医師を養成する」をミッションとして掲げられ、東先生の下には志の高い研修医が多数集まっており、講演1：中村先生の最初の指導医でもいらっしゃいます。東先生の御講演は本研修会の恒例となっておりますが、毎年、人間力というアートを如何に養うか、医学というサイエンスと如何に繋いでいくのかを、御指導頂いております。長引くコロナ禍で双方向の対話の重要性が見直される中、例年以上に心に沁み入るお話が伺えることと思います。

開催日時 ▶ 2022年3月4日(金)18:30～

開催方式 ▶ Zoomを用いたオンライン開催

申込方法 ▶ 以下のいずれかの方法でお申し込みください

※申込締切→2月25日(金) 17:00

①QRコード

申込フォームに入力し
送信してください



②メール

件名に「がん医療従事者研修会申込」、
本文に所属施設・氏名・フリガナ・職名を
ご記載の上、下記アドレスに送信して下さい
byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp

お問い合わせ先：広島大学病院 医療支援グループ TEL 082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院) / 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム
広島大学がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル) 養成プラン